

北海道立市民活動促進センター指定管理者候補者選定委員会(第2回)議事概要

1 日時

令和元年(2019年)12月26日(木)9:30～

2 場所 北海道庁別館 9階 第1研修室

3 出席者 別紙のとおり

4 議題及び内容

- (1) 指定管理者の申請状況について
- (2) 申請資格等(形式的要件)審査の結果報告について
- (3) ヒアリングの進行方法について
- (4) 必須項目及び加点項目に係る審査方法について
- (5) ヒアリング
- (6) 審査・選定

5 内容

- (1) 指定管理者の申請状況について
 - ・事務局から、1者から申請があったことを報告。
 - ・委員からの意見、質問等は特になし。
- (2) 申請資格等(形式的要件)審査の結果報告について
 - ・事務局から、審査手順の確認を行った。
 - ・事務局から、事前審査を行った結果すべての項目について要件を満たしていたことを報告。
 - ・委員からの意見、質問等は特になし。
 - ・申請資格等審査の結果について、委員全員の賛成を得た。
- (3) ヒアリングの進行方法について
 - ・事務局から、ヒアリングの進行方法を説明。
 - ・委員から意見、質問等は特になし。
- (4) 必須項目及び加点項目に係る審査方法について
 - ・事務局から、必須項目及び加点項目に係る審査方法を説明。
 - ・委員から意見、質問等は特になし。
- (5) ヒアリング
 - ・【ヒアリング】
申請者の公益財団法人北海道地域活動振興協会が20分間のプレゼンテーションを行った。
(団体概要、業務計画、収支計画等)
 - ・【質疑等】

- (委員) 外国人の利用者は、休日、平日の平均はどのくらいか？
- (申請者) 日本語教室を行っている団体が、火曜、水曜、木曜に事業を実施しており、平均30名くらい。日本語教室を行っていない日に来られても対応できるようにします。
- (委員) 講座を実施するにあたって、講師の選定方法を教えてください。
- (申請者) 全国的に活躍されている方や、事例を持っている方を中心に選んでいます。会議を進めるファシリテーターの講師は、ファシリテーションの講座を受講された方々が作った団体があり、今は全道各地でファシリテーターとして活躍しているので、訓練とか実践力を含めて、講師を依頼している。
- (委員) 講座の受講者数が、平成28年度から平成30年度の実績が、平成24年度から平成27年度の実績数より大幅に少なくなっている理由を教えてください。
- (申請者) 公募企画講座には、パネル展や展示会がありますので、来場者数をカウントすると大きな数字となります。その他、一般市民の参加しやすいテーマだと多くなる傾向があります。
- (委員) 一般市民を対象にした講座が少なくなったということですか？
- (申請者) 公募企画講座では、基礎講座以外は実際に市民活動をやっている方々を対象にした講座をやっています。
- (委員) 札幌市立の同じような市民活動を支援する施設がある中で、北海道全域を対象にしなければならないということで、公募企画講座とか市民活動ステップアップ講座、全道各地域を対象にそれぞれに開催する計画書となっているが、開催地をどのように決めているのか？
- (申請者) 予算の関係もあるので、例えば遠くで1箇所、近くで一箇所ということで、5年間でほしい全道の各振興局をまわれるように考えています。札幌市との関係は、年に何回か職員の方とお話しすることがあり、来年の3月には札幌市のセンターと共催で講座を企画しています。そのほか、各地域にある中間支援センターと協力しながら講座等を開催し、市民活動の促進を進めていきます。
- (委員) 中間支援組織という呼び方と、中間支援センターという言い方とありますが、違うものか？
- (申請者) 同じものです。普段、中間支援センターと言っておりますが、正確には中間支援組織です。
- (委員) 中間支援組織というのは、NPOを支援するNPOのことを言うと思ったのですが、たとえば市町村が設立しているセンターのことも含めて、そう呼んでいるのか？
- (申請者) 中間支援センターというのは、建物で、組織というのはそこを運営している団体と解釈しています。公設民営という施設が全道各地域にあり、把握しているのは、民設民営も含めて24くらいあります。
- (委員) いわゆる中間支援組織として設立されたNPOの中には、必ずしも管理運営を指定管理者として受託しているわけではない所もあると思うが、そういう所も含めてですか？
- (申請者) 同じです。施設を持っていませんが、そういう活動をしている組織もあります。
- (委員) 職員さんがSNSを活用しているというお話があったが、具体的にどのようなことですか？
- (申請者) センターは、12時間開館しているため、2交代制の勤務ローテーションを組んで

いますので、引き継ぎのためです。

(委員) ホームページの他の、いわゆるSNSでの情報発信というのはされないのか？

(申請者) どういう情報を発信していこうとかを検討中です。それが、ホームページよりも良いよということであれば、取り入れてやっていきたいと思います。

(委員) 遠隔地であっても、送料を負担すれば、図書や備品を貸し出ししますと書いてあるが、実際に要望はありますか？

(申請者) 最近はないです。やはり、スマートフォンとかパソコンが普及していますので、どうしても自分で調べるほうが早い。情報収集のための利用が減ってきているというところですか。

(委員) 道内の中間支援組織と、もっと深く連携していきたいとのことだが、具体的に、どのように伸ばそうとしているのか？

(申請者) 中間支援組織で働いている職員を対象に研修をやっており、職員の能力向上と隣接するセンターの職員同士のネットワークの強化を図りたい。

(6) 審査・選定

ア 必須項目～各委員評価、審査

- ・委員全員が適当であると判断した。

イ 加点項目～各委員評価、採点・集計、審査

- ・各委員が加点項目審査を実施し、集計の結果、合計270点、平均90点となり、申請者が1団体であることから、この当該団体が最高点をつけた委員数をもっとも多い申請者となった。

ウ 指定管理者候補者の決定

- ・指定管理者候補者として、公益財団法人北海道地域活動振興協会を最適な団体として選定した。